



旧見付学校だより vol. 107

平成31年1月15日

旧見付学校と見付地区探訪⑩ ～ きゅうあかまつけきねんかん 旧赤松家記念館 ～

前号で紹介した西光寺とは反対方向、右に折れ直進すると、旧赤松家記念館の赤レンガの塀や建物が見えてきます。(旧見付学校から徒歩約20分)



旧赤松家記念館は近代日本造船技術の先駆者で、明治期に磐田原台地に茶園を開拓した赤松則良あかまつのりよしが明治20～30年代に建てた邸宅跡です。則良は遣米使節団への随行かんりんまる(咸臨丸乗組員)やオランダ留学にて造船技術を習得するなど、幕臣として活躍しました。明治期には造船技術者として主船寮長官、横須賀造船所長などを歴任しています。その勲功により男爵号を授与され、その後海軍中将まで進みました。

旧赤松家記念館の見どころは、フランス積みといわれるレンガ造りの門や塀(県指定文化財)などの建造物をはじめ、図書蔵の回転式雨戸(伝統工法)、江戸時代中期の紙本金地著色源氏物語図ものがたりずや室町時代後期の檜・銘包直やり めいかねなお(共に市指定文化財)、勲一等旭日大綬賞くんいつとうきょくじつだいじゅしょう(明治21年5月29日授与)などの展示物も充実しています。

赤松則良の人物像と共に、幕末から明治期にかけての激動の時代に思いを馳せてみてはどうでしょうか。



〒438-0086 磐田市見付 2452

磐田市旧見付学校 TEL & FAX 0538-32-4511

(休館日：月曜、祝日の翌日、年末年始)

1月の休館日：1/21、28

2月の休館日：2/4、12、18、25